日本史研究学域の卒業論文テーマ（例）

文学部での学びの集大成として、先輩たちが取り組んできた卒業論文のテーマの一部をご紹介します。多様なテーマが示すように、文学部では自らの興味・関心をもとに研究テーマを決め、学びを深めていくことができます。

日本史学専攻

・養老年間の公出挙の考察 －養老四年・六年太政官奏を中心に－
・平安時代初期の上賀茂神社 －堂宇建立からみる王権との関係－
・吉備真備の陰陽道始祖伝承について
・室町幕府における日野栄子の活動と立場
・秀吉政権の有力大名と奉公衆 －「五大老」「五奉行」成立段階の考察
・近世における三重県下鋳物師の考察
・近世後期読者と対外関係 －庄内佐藤家を例として－
・激動の幕末明治維新期を江戸・東京の人々はどう生きたか －明治二年の東京薦都に焦点を当てて－
・大地と共に揺れた生糸輸出体制 －関東大震災と横浜港・神戸港、生糸生産地信州を中心に－
・末期「満州国」の状況 －『今吉敏雄文書』を分析の中心にして－

考古学・文化遺産専攻

・石鏃の折れ方
・近畿を中心として出土弓の考古学的考察
・古墳時代の殺馬祭祀
・津波記念碑の研究
・弥生時代の井戸の初現期の様相
・畿内地域を中心とした竪穴式石槨の研究
・京都の墓標に刻まれる戒名
・「伝統」はどこにあるべきか －京都の染色産業を事例に挙げて－
・陶器製手榴弾から見る陶磁器製兵器の実相
・新聞にみる発掘報道の変遷
・北海道における縄文時代の墓制
・北野廃寺・広隆寺出土瓦の再検討
・中世畿内周縁部の土器様相ー伊賀国を事例にー
・如意寺再考
・長屋王家伝票木簡の字形分析について